



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2020年11月9日

上場会社名 株式会社インターネットイニシアティブ  
 コード番号 3774 URL <https://www.ij.ad.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 勝 栄二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役CFO (氏名) 渡井 昭久 TEL (03)5205-6500

四半期報告書提出予定日 2020年11月16日 配当支払開始予定日 2020年12月4日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	101,665	2.5	5,239	56.3	4,466	46.7	2,810	51.2	2,770	57.7	4,317	68.5
2020年3月期第2四半期	99,220	8.8	3,352	2.0	3,043	△11.3	1,858	△14.8	1,756	△16.2	2,562	7.2

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	61.43	61.13
2020年3月期第2四半期	38.96	38.79

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	206,455	83,815	82,850	40.1
2020年3月期	206,524	80,057	79,076	38.3

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	13.50	—	13.50	27.00
2021年3月期	—	20.50	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	10.25	30.75

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を予定しております。2021年3月期の期末配当金は当該株式分割後の数値であり、分割前の株数で計算した場合、期末配当金は1株当たり20.50円となり年間配当金は1株当たり41.00円となります。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	212,000	3.7	11,300	37.4	10,000	39.7	6,100	52.2	67.63

(注1) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注2) 当社は、2021年1月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を予定しており、基本的1株当たり当期利益は当該株式分割後の数値であります。

(注3) 2021年3月期の連結業績予想の詳細につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期 2Q	46,734,600株	2020年3月期	46,734,600株
② 期末自己株式数	2021年3月期 2Q	1,631,766株	2020年3月期	1,650,950株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期 2Q	45,092,357株	2020年3月期 2Q	45,077,125株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(1) 業績予想の適切な利用に関する説明

業績予想は、本資料の発表日現在において当社グループの入手可能な情報に基づき、一定の前提(仮定)を用いて作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。また、今後の当社グループの事業を取り巻く経営環境の変化、市場の動向、その他様々な要因により、実際の業績が現状の見通し数値と大きく変わる可能性があります。業績予想につきましては、添付資料7頁「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(2) その他

決算説明会プレゼンテーション資料は、TDnetにて2020年11月9日(月)に開示し、併せて当社ホームページへも掲載する予定です。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 7
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 7
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 8
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 8
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	P. 8
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 9
(1) 要約四半期連結財政状態計算書(未監査)	P. 9
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)	P. 11
(3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)	P. 15
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)	P. 17
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)	P. 19
(継続企業の前提に関する注記)	P. 19
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 19
(セグメント情報)	P. 19
(重要な後発事象)	P. 20

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 当四半期(2021年3月期第2四半期)の連結業績の概況

当四半期における国内景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況下にありますが、このところ持ち直しの動きがみられております。先行きについては、社会経済活動のレベルの順次引き上げのなか、各種政策の効果や海外経済の改善もあり、持ち直しの動きが続くことが期待されます。ただし、国内外の感染症の動向や金融資本市場の変動等の影響を注視する必要があります。

そのような景気動向の中、当社グループが主に係わる法人ICT<sup>(※1)</sup>関連市場では、コロナ禍を契機にテレワーク<sup>(※2)</sup>に関連するネットワークやシステムへの需要が増加し、従前からの、インターネット接続サービスの安定成長、セキュリティ関連サービスの継続的な需要増加、クラウドコンピューティング<sup>(※3)</sup>関連サービスの順次普及、それらのサービスを総合的に利用するIoT<sup>(※4)</sup>関連案件の増加等と相まって、安心安全なICTサービスの利活用の流れが強まっております。

このような市場環境の中、当社グループの当第2四半期連結累計期間においては、月額計上される法人ストック売上高<sup>(※5)</sup>が前年同期比11.9%増加し、総売上高は101,665百万円、営業利益は5,239百万円といずれも期初想定を上回り、特に営業利益は前年同期比56.3%増と大幅に伸長いたしました。これらの基調は下半期も継続すると想定し、通期業績見通しを上方修正するとともに、中間配当及び期末配当予定ともに期初に予定した増配額を増加することといたしました。ネットワークサービス分野におきましては、基盤となるインターネット接続サービスに加え、SD-WAN<sup>(※6)</sup>機能を利用した閉域接続、クラウドエクステンジ<sup>(※7)</sup>、モバイル接続を含むVPN<sup>(※8)</sup>関連サービス、各種セキュリティ関連サービス等の自社開発サービス群のラインアップにより、企業及び官公庁等の社内ネットワークの見直しや増強、マルチクラウド<sup>(※9)</sup>接続、TV会議システムやMicrosoft 365<sup>(※10)</sup>等のアプリケーション利用の需要等に効果を発揮しております。IoT関連では、取扱い案件数が継続増加するなか、従前からの監視やマーケティング用途のカメラ接続及び位置や状況把握用途の端末接続等に加え、トヨタ自動車北海道株式会社様の事例に見られる工場生産ラインへのIoTシステム導入へと案件内容も順次広がりつつあります。システムインテグレーション分野におきましては、システム構築の受注環境は、第1四半期はコロナ禍での企業の行動低下で低調でしたが、第2四半期には復調し企業や官公庁向けのネットワークインテグレーション<sup>(※11)</sup>案件が活況となりました。

当第2四半期連結累計期間における業績結果につきまして、売上収益は前年同期比2.5%増の101,665百万円(前年同期 99,220百万円)となり、法人ストック売上は順調に増加したものの、前年度中にあったWANサービスの大口特定顧客のモバイル移行による年度減収及びATM運営事業におけるコロナ禍による減収影響等があり、総売上高の増収率は低水準でありました。売上原価は前年同期比0.2%増の84,210百万円(前年同期 84,020百万円)となり、売上総利益は前年同期比14.8%増の17,455百万円(前年同期 15,200百万円)となりました。内訳といたしましては、ネットワークサービスの売上高は前年同期比1.5%増の62,104百万円(前年同期 61,204百万円)、売上総利益は前年同期比21.5%増の12,208百万円(前年同期 10,051百万円)となりました。システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は前年同期比6.3%増の38,167百万円(前年同期 35,916百万円)、売上総利益は前年同期比14.5%増の4,777百万円(前年同期 4,174百万円)となりました。ATM運営事業の売上高は、主として店舗休店や外出自粛でのATM利用件数減少等により前年同期比33.6%減の1,394百万円(前年同期 2,100百万円)、売上総利益は前年同期比51.8%減の470百万円(前年同期 975百万円)となりました。販売管理費等(販売費及び一般管理費、その他の収益及びその他の費用の合計)は前年同期比3.1%増の12,216百万円(前年同期 11,848百万円)となり、当第2四半期連結累計期間における営業利益は前年同期比56.3%増の5,239百万円(前年同期 3,352百万円)となりました。税引前四半期利益は前年同期比46.7%増の4,466百万円(前年同期 3,043百万円)となり、親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同期比57.7%増の2,770百万円(前年同期 1,756百万円)となりました。

セグメント別では、当第2四半期連結累計期間のネットワークサービス及びシステムインテグレーション(SI)事業の売上収益は前年同期比3.2%増の100,360百万円(前年同期 97,265百万円)となり、営業利益は前年同期比92.5%増の4,923百万円(前年同期 2,557百万円)となりました。ATM運営事業の売上収益は前年同期比33.6%減の1,394百万円(前年同期 2,100百万円)となり、営業利益は378百万円(前年同期 869百万円)となりました。

### 用語集

- (※1) ICT: Information and Communication Technologyの略。コンピュータによる情報通信に関するハードウェア、ソフトウェア、システム及びデータ通信等に関する技術の総称。
- (※2) テレワーク: 会社事務所以外の自宅や遠隔地からICTを利用し、業務に従事すること。
- (※3) クラウドコンピューティング: コンピュータの機能や処理能力、ソフトウェア、データ等をインターネット経由で利用すること。
- (※4) IoT: Internet of Thingsの略。モノのインターネットと言われ、これまでインターネットに接続されていなかった物体に通信機能を持たせることで、物体が情報通信を行うようになること。
- (※5) 法人ストック売上高: 役務の継続提供により継続的な計上が期待できる売上(ストック売上)のうち、個人向け及びMVNE売上高及び個別減収要素のあったWAN売上高を除いた法人向け売上高。
- (※6) SD-WAN: Software Defined WANの略。サーバーやルータなどのハードウェアで構築されたネットワーク上に仮想的な別のネットワークを構築し、ソフトウェアで一元管理を行い、拠点間接続やクラウド接続などにおいて柔軟なネットワーク構成やトラフィックコントロールなどを実現する技術やサービスのこと。
- (※7) クラウドエクステンジ: 複数のクラウドサービス、複数のネットワークサービス、複数のITサービスを相互に結びつけて提供するデータセンター機能のひとつ。
- (※8) VPN: Virtual Private Networkの略。企業内ネットワークなど固有のネットワークを構築する際に、インターネットなどの開かれたネットワーク上に暗号化技術などを用いて仮想的に固有ネットワークを構築する技術のこと。
- (※9) マルチクラウド: Amazon Web ServicesやMicrosoft Azureなどの異なる事業者のクラウドサービスを複数併用すること。
- (※10) Microsoft 365: Microsoft社の月払いや年払いで提供される、メール、スケジュール、コミュニケーションツール等の総合的なグループウェア
- (※11) ネットワークインテグレーション: 通信ネットワーク関連システムの設計や構築、運用、保守などの業務を一括して請け負うこと。

## ②経営成績の分析

当社グループの売上収益の大部分は「ネットワークサービス及びSI事業」からのものであり、役務別の分析により記載しております。

## &lt;連結業績サマリー&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
売上収益合計	99,220	101,665	2.5
ネットワークサービス売上高	61,204	62,104	1.5
システムインテグレーション売上高(注)1	35,916	38,167	6.3
ATM運営事業売上高	2,100	1,394	△33.6
売上原価合計	△84,020	△84,210	0.2
ネットワークサービス売上原価	△51,153	△49,896	△2.5
システムインテグレーション売上原価(注)1	△31,742	△33,390	5.2
ATM運営事業売上原価	△1,125	△924	△17.8
売上総利益合計	15,200	17,455	14.8
ネットワークサービス売上総利益	10,051	12,208	21.5
システムインテグレーション売上総利益(注)1	4,174	4,777	14.5
ATM運営事業売上総利益	975	470	△51.8
販売管理費等(注)2	△11,848	△12,216	3.1
営業利益	3,352	5,239	56.3
税引前四半期利益	3,043	4,466	46.7
親会社の所有者に帰属する四半期利益	1,756	2,770	57.7

(注)1. システムインテグレーションには機器販売を含んでおります。

2. 販売費及び一般管理費(含む研究開発費)、その他の収益、その他の費用の合計額を記載しております。

## &lt;セグメント情報サマリー&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
	金額(百万円)	金額(百万円)
連結売上収益	99,220	101,665
ネットワークサービス及びSI事業	97,265	100,360
ATM運営事業	2,100	1,394
セグメント間取引消去	△145	△89
連結営業利益	3,352	5,239
ネットワークサービス及びSI事業	2,557	4,923
ATM運営事業	869	378
セグメント間取引消去	△74	△62

## i) 売上収益

当第2四半期連結累計期間における売上収益は、前年同期比2.5%増の101,665百万円(前年同期 99,220百万円)となりました。

## &lt;ネットワークサービス売上高&gt;

法人向けインターネット接続サービスの売上高は、通信需要の増加に伴うIPサービス及びモバイル関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比8.7%増の19,650百万円(前年同期 18,075百万円)となりました。

個人向けインターネット接続サービスの売上高は、競合の進展及び新型コロナウイルス感染症拡大に伴う販売店の営業低調等による個人向けモバイルサービス売上高の減少等により、前年同期比0.9%減の12,885百万円(前年同期 12,997百万円)となりました。

WANサービスの売上高は、前年度第3四半期までの大口特定顧客のモバイル移行による減収の年度影響等で、前年同期比14.0%減の12,336百万円(前年同期 14,342百万円)となりました。

アウトソーシングサービスの売上高は、セキュリティ関連サービス売上高の増加等があり、前年同期比9.1%増の17,233百万円(前年同期 15,790百万円)となりました。

これらの結果、ネットワークサービス売上高は、前年同期比1.5%増の62,104百万円(前年同期 61,204百万円)となりました。

ネットワークサービス売上高の内訳、法人向け及び個人向けインターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域は、それぞれ以下のとおりであります。

## &lt;ネットワークサービス売上高の内訳&gt;

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	増減率
	金額(百万円)	金額(百万円)	(%)
ネットワークサービス売上高合計	61,204	62,104	1.5
法人向けインターネット接続サービス	18,075	19,650	8.7
IPサービス(含むインターネットデータセンター 接続サービス)	5,314	5,849	10.1
IIJモバイルサービス	11,133	12,035	8.1
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	8,234	8,551	3.9
その他	2,899	3,484	20.2
その他	1,628	1,766	8.4
個人向けインターネット接続サービス	12,997	12,885	△0.9
IIJmioモバイルサービス	11,710	11,549	△1.4
その他	1,287	1,336	3.9
WANサービス	14,342	12,336	△14.0
アウトソーシングサービス	15,790	17,233	9.1

## ＜インターネット接続サービス契約数及び回線数の内訳並びに法人向けインターネット接続サービスの契約総帯域＞(注)1

	前第2四半期連結会計期間末 (2019年9月30日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日現在)	増減
法人向けインターネット接続サービス契約数合計	1,827,220	2,180,704	353,484
IPサービス(1Gbps以上)(注)2	743	778	35
IPサービス(1Gbps未満)(注)2	1,240	1,239	△1
IIJモバイルサービス	1,741,824	2,090,428	348,604
IIJモバイルMVNOプラットフォームサービス	1,090,569	1,122,880	32,311
その他	651,255	967,548	316,293
その他	83,413	88,259	4,846
個人向けインターネット接続サービス回線数合計	1,408,665	1,384,933	△23,732
IIJmioモバイルサービス	1,075,758	1,044,681	△31,077
その他	332,907	340,252	7,345

	帯域(Gbps)	帯域(Gbps)	(Gbps)
法人向けインターネット接続サービス契約総帯域 (注)3	4,454.0	5,869.0	1,415.0

(注)1. 法人向けインターネット接続サービス及び個人向けインターネット接続サービスの内訳において、「IIJモバイルサービス」及び「IIJmioモバイルサービス」は回線数を表示しており、それ以外は契約数を表示しております。

2. IPサービスには、インターネットデータセンター接続サービスが含まれます。

3. 法人向けインターネット接続サービスのうち、IPサービス(含むインターネットデータセンター接続サービス)及びブロードバンド対応型サービス各々の契約数と契約帯域を乗じることにより算出しております。

## ＜システムインテグレーション売上高＞

システム構築及び機器販売による一時的な売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う4月及び5月頃の企業活動の停滞等があり、前年同期比5.3%減の13,020百万円(前年同期 13,754百万円)となりました。システム運用保守による継続的な売上高は、プライベートクラウドサービスの売上高増加等があり、前年同期比13.5%増の25,147百万円(前年同期 22,162百万円)となりました。これらの結果、システムインテグレーション(含む機器販売)の売上高は、前年同期比6.3%増の38,167百万円(前年同期 35,916百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注は、前年同期比19.1%増の43,291百万円(前年同期 36,351百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注は前年同期比3.8%増の15,159百万円(前年同期 14,610百万円)、システム運用保守に関する受注は前年同期比29.4%増の28,131百万円(前年同期 21,741百万円)でありました。

当第2四半期連結累計期間末のシステムインテグレーション(含む機器販売)の受注残高は、前年同期末比18.3%増の60,988百万円(前年同期末 51,550百万円)となりました。このうち、システム構築及び機器販売に関する受注残高は前年同期末比10.9%増の9,646百万円(前年同期末 8,696百万円)、システム運用保守に関する受注残高は前年同期末比19.8%増の51,341百万円(前年同期末 42,853百万円)でありました。

## ＜ATM運営事業売上高＞

ATM運営事業売上高は、新型コロナウイルス感染症によるATM設置店休店等の影響により、前年同期比33.6%減の1,394百万円(前年同期 2,100百万円)となりました。

## ii) 売上原価

当第2四半期連結累計期間における売上原価は、前年同期比0.2%増の84,210百万円(前年同期 84,020百万円)となりました。

## ＜ネットワークサービス売上原価＞

ネットワークサービスの売上原価は、WANサービス売上高の減少等に伴う回線関連費用の減少等があり、前年同期比2.5%減の49,896百万円(前年同期 51,153百万円)となりました。ネットワークサービスの売上総利益は、前年同期比21.5%増の12,208百万円(前年同期 10,051百万円)となり、ネットワークサービスの売上総利益率は19.7%(前年同期 16.4%)となりました。

<システムインテグレーション売上原価>

システムインテグレーション(含む機器販売)の売上原価は、クラウド関連売上高等の増加に伴うライセンス費用の増加等があり、前年同期比5.2%増の33,390百万円(前年同期 31,742百万円)となりました。機器販売を含むシステムインテグレーションの売上総利益は、前年同期比14.5%増の4,777百万円(前年同期 4,174百万円)となり、売上総利益率は12.5%(前年同期 11.6%)となりました。

<ATM運営事業売上原価>

ATM運営事業売上原価は、前年同期比17.8%減の924百万円(前年同期 1,125百万円)となりました。売上総利益は、470百万円(前年同期 975百万円)となり、売上総利益率は33.7%(前年同期 46.4%)となりました。

iii) 販売管理費等

当第2四半期連結累計期間における販売費及び一般管理費(含む研究開発費)は、人件関連費用の増加等がありましたが販売手数料及び旅費交通費の減少等があり、前年同期比1.9%増の12,124百万円(前年同期 11,901百万円)となりました。

その他の収益は80百万円(前年同期 159百万円)となりました。その他の費用は主として固定資産除却損により172百万円(前年同期 106百万円)となりました。

iv) 営業利益

当第2四半期連結累計期間における営業利益は、前年同期比56.3%増の5,239百万円(前年同期 3,352百万円)となりました。

v) 金融収益、金融費用及び持分法による投資損益

当第2四半期連結累計期間における金融収益は、受取配当金75百万円(前年同期 61百万円)等により、109百万円(前年同期 119百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における金融費用は、支払利息296百万円(前年同期 279百万円)及び主として為替変動によるファンド等の評価損141百万円等があり、469百万円(前年同期 295百万円)となりました。

当第2四半期連結累計期間における持分法による投資損益は、㈱ディーカレットに関する損失578百万円等があり、413百万円の損失(前年同期133百万円の損失)となりました。

vi) 税引前四半期利益

当第2四半期連結累計期間における税引前四半期利益は、前年同期比46.7%増の4,466百万円(前年同期 3,043百万円)となりました。

vii) 四半期利益

当第2四半期連結累計期間における法人所得税費用は、1,656百万円の費用(前年同期 1,185百万円の費用)となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における四半期利益は、前年同期比51.2%増の2,810百万円(前年同期 1,858百万円)となりました。

非支配持分に帰属する四半期利益は、㈱トラストネットワークスに係る利益等により40百万円(前年同期 102百万円)となりました。この結果、当第2四半期連結累計期間における親会社の所有者に帰属する四半期利益は、前年同期比57.7%増の2,770百万円(前年同期 1,756百万円)となりました。



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び株主資本の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末比69百万円減少し、206,455百万円(前連結会計年度末206,524百万円)となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末比611百万円増加し、87,202百万円(前連結会計年度末86,590百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、現金及び現金同等物2,931百万円増加の41,602百万円、営業債権4,403百万円減少の28,182百万円、前払費用1,221百万円増加の10,918百万円でありました。

当第2四半期連結会計期間末における非流動資産は、前連結会計年度末比681百万円減少の119,253百万円(前連結会計年度末119,934百万円)となりました。使用権資産(オフィス、データセンター等の賃借契約及び通信機器等のリース契約の利用権)は主として減価償却による2,416百万円の減少で48,144百万円となりました。持分法で会計処理されている投資は㈱ディーカレットへの出資等により2,205百万円増加の7,032百万円となりました。その他投資は保有上場株式の時価変動等にて1,843百万円増加し11,030百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末比106百万円減少の65,581百万円(前連結会計年度末65,687百万円)となりました。主な増減及び残高の内訳は、営業債務及びその他の債務2,643百万円減少の15,645百万円、借入金3,170百万円の増加(うち1年内返済予定の長期借入金の返済915百万円及び非流動負債からの振替4,085百万円)の18,750百万円、契約負債は取引に係る前受収益の増加等により1,532百万円増加の7,430百万円、その他の金融負債はリース支払等にて1,934百万円減少の15,911百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における非流動負債は、前連結会計年度末比3,722百万円減少の57,059百万円(前連結会計年度末60,780百万円)となり、主な増減及び残高の内訳は、借入金は4,085百万円の流動負債への振替にて8,085百万円、その他の金融負債は流動負債への振替等にて1,195百万円減少の35,111百万円となりました。

当第2四半期連結会計期間末における親会社の所有者に帰属する持分の額は、前連結会計年度末比3,774百万円増加の82,850百万円(前連結会計年度末79,076百万円)、親会社の所有者に帰属する持分比率は40.1%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、41,602百万円(前年同期末34,036百万円)となりました。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、税引前四半期利益4,466百万円、減価償却費及び償却費14,156百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る使用権資産の減価償却費5,984百万円)に対して、営業債権の減少及び契約負債(前受収益)の増加が前年同期比で収入増となったのに加え前年度期首にて一時的要因で増加していた営業債務の支払が前年同期比で支出減となり、営業資産及び負債の増減で4,022百万円の収入(前年同期2,947百万円の支出)となり、法人所得税の支払い2,045百万円等もあり、21,498百万円の収入(前年同期13,394百万円の収入)となりました。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による2,754百万円の支出(前年同期4,788百万円の支出)、ソフトウェア等の無形資産の取得による2,772百万円の支出(前年同期2,422百万円の支出)、主としてセールアンドリースバック取引で有形固定資産の売却による収入1,448百万円(前年同期818百万円の収入)、持分法適用関連会社への出資2,754百万円等があり、6,547百万円の支出(前年同期4,087百万円の支出)となりました。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済915百万円、その他の金融負債の支払10,390百万円(うちIFRS第16号の適用によるオペレーティング・リースに係る支払5,933百万円)、配当金の支払い609百万円等があり、11,969百万円の支出(前年同期7,139百万円の支出)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の連結業績予想及び配当予想につきましては、2020年5月14日に公表いたしました予想から修正しております。

詳しくは、本日(2020年11月9日)公表の「2021年3月期第2四半期連結累計期間の前期実績値と決算数値との差異及び通期連結業績予想の修正(上方修正)に関するお知らせ」及び「剰余金の配当(中間配当・増配)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更  
該当事項はありません。

## 3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書 (未監査)

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
	千円	千円
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	38,671,734	41,602,490
営業債権	32,585,326	28,182,295
棚卸資産	2,476,477	2,547,154
前払費用	9,696,856	10,918,322
契約資産	438,675	1,573,282
その他の金融資産	2,629,332	1,849,014
その他の流動資産	92,027	529,285
流動資産合計	86,590,427	87,201,842
非流動資産		
有形固定資産	17,399,863	16,205,648
使用権資産	50,560,361	48,144,151
のれん	6,082,472	6,082,472
無形資産	18,280,247	17,700,998
持分法で会計処理されている投資	4,827,287	7,032,083
前払費用	7,777,997	8,178,016
契約資産	60,362	37,180
その他の投資	9,186,646	11,029,766
繰延税金資産	742,857	151,546
その他の金融資産	4,645,959	4,292,266
その他の非流動資産	369,782	399,188
非流動資産合計	119,933,833	119,253,314
資産合計	206,524,260	206,455,156

	前連結会計年度末 (2020年3月31日現在)	当第2四半期連結会計期間末 (2020年9月30日現在)
	千円	千円
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	18,287,546	15,644,741
借入金	15,580,000	18,750,000
未払法人所得税	2,283,707	1,810,593
契約負債	5,897,674	7,429,837
繰延収益	88,901	86,319
その他の金融負債	17,845,194	15,911,013
その他の流動負債	5,703,623	5,948,540
流動負債合計	65,686,645	65,581,043
非流動負債		
借入金	12,170,000	8,085,000
退職給付に係る負債	3,984,880	4,154,275
引当金	753,518	754,960
契約負債	5,991,807	7,302,220
繰延収益	479,097	440,016
繰延税金負債	136,536	195,876
その他の金融負債	36,305,781	35,111,020
その他の非流動負債	958,879	1,015,595
非流動負債合計	60,780,498	57,058,962
負債合計	126,467,143	122,640,005
資本		
資本金	25,530,621	25,530,621
資本剰余金	36,271,395	36,355,490
利益剰余金	16,500,993	18,914,141
その他の資本の構成要素	2,669,501	3,924,650
自己株式	△1,896,921	△1,875,112
親会社の所有者に帰属する持分合計	79,075,589	82,849,790
非支配持分	981,528	965,361
資本合計	80,057,117	83,815,151
負債及び資本合計	206,524,260	206,455,156

## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書(未監査)

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	61,203,901	62,104,244
システムインテグレーション売上高	35,915,608	38,166,674
ATM運営事業売上高	2,100,026	1,394,072
売上収益合計	99,219,535	101,664,990
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△51,153,590	△49,896,323
システムインテグレーション売上原価	△31,741,986	△33,389,930
ATM運営事業売上原価	△1,124,746	△924,119
売上原価合計	△84,020,322	△84,210,372
売上総利益	15,199,213	17,454,618
販売費及び一般管理費	△11,900,630	△12,124,184
その他の収益	159,068	80,433
その他の費用	△105,701	△171,818
営業利益	3,351,950	5,239,049
金融収益	118,609	109,178
金融費用	△294,150	△468,831
持分法による投資損益	△133,121	△413,535
税引前四半期利益	3,043,288	4,465,861
法人所得税費用	△1,184,935	△1,656,268
四半期利益	1,858,353	2,809,593
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,756,102	2,769,928
非支配持分	102,251	39,665
四半期利益	1,858,353	2,809,593
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	38.96	61.43
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	38.79	61.13

## 第2四半期連結会計期間

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
売上収益		
ネットワークサービス売上高	30,524,316	31,170,310
システムインテグレーション売上高	17,806,404	19,291,714
ATM運営事業売上高	1,059,971	824,461
売上収益合計	49,390,691	51,286,485
売上原価		
ネットワークサービス売上原価	△25,492,608	△24,952,979
システムインテグレーション売上原価	△15,522,606	△16,506,123
ATM運営事業売上原価	△557,828	△485,822
売上原価合計	△41,573,042	△41,944,924
売上総利益	7,817,649	9,341,561
販売費及び一般管理費	△5,858,938	△6,075,336
その他の収益	46,409	32,282
その他の費用	△34,129	△106,687
営業利益	1,970,991	3,191,820
金融収益	97,173	40,502
金融費用	△148,227	△326,064
持分法による投資損益	△245,328	△134,628
税引前四半期利益	1,674,609	2,771,630
法人所得税費用	△642,010	△1,084,076
四半期利益	1,032,599	1,687,554
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	979,589	1,653,615
非支配持分	53,010	33,939
四半期利益	1,032,599	1,687,554
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	21.73	36.66
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	21.63	36.48

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
四半期利益	1,858,353	2,809,593
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて測定する ものとして指定した資本性金融商品 の公正価値の純変動額	817,704	1,560,647
純損益に振り替えられることのない 項目合計	817,704	1,560,647
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△117,773	△42,769
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	974	219
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	2,493	△11,099
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△114,306	△53,649
その他の包括利益合計(税引後)	703,398	1,506,998
四半期包括利益	2,561,751	4,316,591
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	2,459,500	4,276,926
非支配持分	102,251	39,665
四半期包括利益	2,561,751	4,316,591

## 第2四半期連結会計期間

	前第2四半期連結会計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 2020年7月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
四半期利益	1,032,599	1,687,554
その他の包括利益 (税引後)		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて測定する ものとして指定した資本性金融商品 の公正価値の純変動額	165,547	364,811
純損益に振り替えられることのない 項目合計	165,547	364,811
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	△20,231	△17,304
その他の包括利益を通じて公正価値 で測定する金融資産	289	82
持分法適用会社におけるその他の 包括利益に対する持分	△1,469	20,295
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	△21,411	3,073
その他の包括利益合計 (税引後)	144,136	367,884
四半期包括利益	1,176,735	2,055,438
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	1,123,725	2,021,499
非支配持分	53,010	33,939
四半期包括利益	1,176,735	2,055,438



## (3) 要約四半期連結持分変動計算書(未監査)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2019年4月1日時点の残高	25,518,712	36,225,775	12,335,035	4,088,704	△1,896,788	76,271,438
IFRS16号適用による累積的 影響額-税効果後	—	—	△33,728	—	—	△33,728
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	1,756,102	—	—	1,756,102
その他の包括利益	—	—	—	703,398	—	703,398
四半期包括利益合計	—	—	1,756,102	703,398	—	2,459,500
所有者との取引額						
新株の発行	11,909	△11,895	—	—	—	14
配当金	—	—	△608,452	—	—	△608,452
株式報酬取引	—	28,615	—	—	—	28,615
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	1,543,793	△1,543,793	—	—
所有者との取引額合計	11,909	16,720	935,341	△1,543,793	—	△579,823
2019年9月30日時点の残高	25,530,621	36,242,495	14,992,750	3,248,309	△1,896,788	78,117,387
		非支配 持分	資本合計			
		千円	千円			
2019年4月1日時点の残高	848,172	77,119,610				
IFRS16号適用による累積的 影響額-税効果後	—	△33,728				
四半期包括利益						
四半期利益	102,251	1,858,353				
その他の包括利益	—	703,398				
四半期包括利益合計	102,251	2,561,751				
所有者との取引額						
新株の発行	—	14				
配当金	△53,405	△661,857				
株式報酬取引	—	28,615				
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—				
所有者との取引額合計	△53,405	△633,228				
2019年9月30日時点の残高	897,018	79,014,405				

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計
	千円	千円	千円	千円	千円	千円
2020年4月1日時点の残高	25,530,621	36,271,395	16,500,993	2,669,501	△1,896,921	79,075,589
四半期包括利益						
四半期利益	—	—	2,769,928	—	—	2,769,928
その他の包括利益	—	—	—	1,506,998	—	1,506,998
四半期包括利益合計	—	—	2,769,928	1,506,998	—	4,276,926
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	—	—	—	△140	△140
自己株式の処分	—	52,917	—	—	21,949	74,866
配当金	—	—	△608,629	—	—	△608,629
株式報酬取引	—	31,178	—	—	—	31,178
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	251,849	△251,849	—	—
所有者との取引額合計	—	84,095	△356,780	△251,849	21,809	△502,725
2020年9月30日時点の残高	25,530,621	36,355,490	18,914,141	3,924,650	△1,875,112	82,849,790
	非支配 持分	資本合計				
	千円	千円				
2020年4月1日時点の残高	981,528	80,057,117				
四半期包括利益						
四半期利益	39,665	2,809,593				
その他の包括利益	—	1,506,998				
四半期包括利益合計	39,665	4,316,591				
所有者との取引額						
自己株式の取得	—	△140				
自己株式の処分	—	74,866				
配当金	△55,832	△664,461				
株式報酬取引	—	31,178				
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—				
所有者との取引額合計	△55,832	△558,557				
2020年9月30日時点の残高	965,361	83,815,151				

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書(未監査)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	3,043,288	4,465,861
調整		
減価償却費及び償却費	14,299,860	14,155,824
固定資産除売却損益(△は益)	82,881	146,543
持分法による投資損益(△は益)	133,121	413,535
金融収益	△107,725	△106,976
金融費用	296,483	485,895
その他	39,524	99,910
営業資産及び負債の増減		
営業債権の増減額(△は増加)	4,054,551	4,394,275
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,353,994	△70,127
前払費用の増減額(△は増加)	△1,982,541	△1,648,603
契約資産の増減額(△は増加)	△927,948	△1,111,425
その他の資産の増減額(△は増加)	190,111	△437,263
その他の金融資産の増減額(△は増加)	△621,923	1,421,035
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△5,221,511	△1,573,038
契約負債の増減額(△は減少)	532,782	2,872,875
繰延収益の増減額(△は減少)	△62,455	△41,663
その他の負債の増減額(△は減少)	△285,697	90,580
その他の金融負債の増減額(△は減少)	△101,021	△44,324
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	124,434	169,395
小計	14,840,208	23,682,309
利息及び配当金の受取額	162,887	159,256
利息の支払額	△279,359	△298,015
法人所得税の支払額	△1,329,835	△2,045,413
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,393,901	21,498,137

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
	千円	千円
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,788,074	△2,753,663
有形固定資産の売却による収入	817,601	1,447,635
無形資産の取得による支出	△2,422,464	△2,772,180
無形資産の売却による収入	260,264	137
持分法で会計処理されている投資の取得による支出	△498,000	△2,754,000
持分法で会計処理されている投資の売却による収入	—	60,637
その他の投資の取得による支出	△42,740	△57,500
その他の投資の売却による収入	2,673,101	392,365
敷金及び保証金の差入による支出	△85,874	△90,868
敷金及び保証金の回収による収入	12,089	8,896
積立保険料の支払	△28,170	△28,170
その他	14,833	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,087,434	△6,546,711
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△750,000	△915,000
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,030,000	—
その他の金融負債による収入	1,473,000	—
その他の金融負債の支払	△10,229,755	△10,389,786
配当金の支払額	△608,452	△608,629
その他	△53,418	△55,832
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,138,625	△11,969,247
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△89,173	△51,423
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	2,078,669	2,930,756
現金及び現金同等物の期首残高	31,957,789	38,671,734
現金及び現金同等物の四半期末残高	34,036,458	41,602,490

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項(未監査)

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

## (セグメント情報)

当社グループは、主として、インターネット接続サービス、WANサービス、アウトソーシングサービス等から構成されるネットワークサービスとシステムインテグレーションサービスを複合して提供することによって、顧客のニーズに応じた包括的なソリューションの提供を行うネットワークサービス及びSI事業と、ATM運営事業を行っております。したがって、当社グループは「ネットワークサービス及びSI事業」、「ATM運営事業」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループのセグメント情報は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	97,119,509	2,100,026	—	99,219,535
セグメント間の売上収益	145,707	—	△145,707	—
売上収益合計	97,265,216	2,100,026	△145,707	99,219,535
セグメント営業利益	2,556,755	868,951	△73,756	3,351,950
金融収益				118,609
金融費用				△294,150
持分法による投資損益				△133,121
税引前四半期利益				3,043,288

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

	報告セグメント			要約四半期 連結損益計算書
	ネットワークサービス 及びSI事業	ATM運営事業	調整額	
	千円	千円	千円	
売上収益				
外部顧客からの売上収益	100,270,918	1,394,072	—	101,664,990
セグメント間の売上収益	89,384	—	△89,384	—
売上収益合計	100,360,302	1,394,072	△89,384	101,664,990
セグメント営業利益	4,922,707	378,434	△62,092	5,239,049
金融収益				109,178
金融費用				△468,831
持分法による投資損益				△413,535
税引前四半期利益				4,465,861

セグメント間取引は、市場に基づく取引価格に依っております。

(重要な後発事象)

当社は、2020年11月9日の取締役会において、以下のとおり株式分割について決議いたしました。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、当社株式の流動性の向上及び投資家層の更なる拡大を目的とするものであります。本件実施により、投資単位は現状の2分の1となります。

2. 株式分割の概要

(1) 分割の方法

2020年12月31日(木)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する当社株式を、1株につき2株の割合をもって分割いたします。

(2) 分割により増加する株式数

① 株式分割前の発行済株式総数	46,734,600株
② 今回の株式分割により増加する株式数	46,734,600株
③ 株式分割後の発行済株式総数	93,469,200株
④ 株式分割後の発行可能株式総数	151,040,000株

※上記発行済株式総数は、新株予約権の行使により増加する可能性があります。

(3) 分割の日程

① 基準日公告日	2020年12月15日(火)
② 基準日	2020年12月31日(木)
③ 効力発生日	2021年1月1日(金)

※当日は株主名簿管理人の休業日につき、実質的には2020年12月30日(水)になります。

3. 1株当たり情報に及ぼす影響

今回の株式分割に伴う配当金額の実質的な変更はありません。また、当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の基本的1株当たり当社に帰属する四半期利益は、以下のとおりです。

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
基本的1株当たり四半期利益	19.48円	30.71円